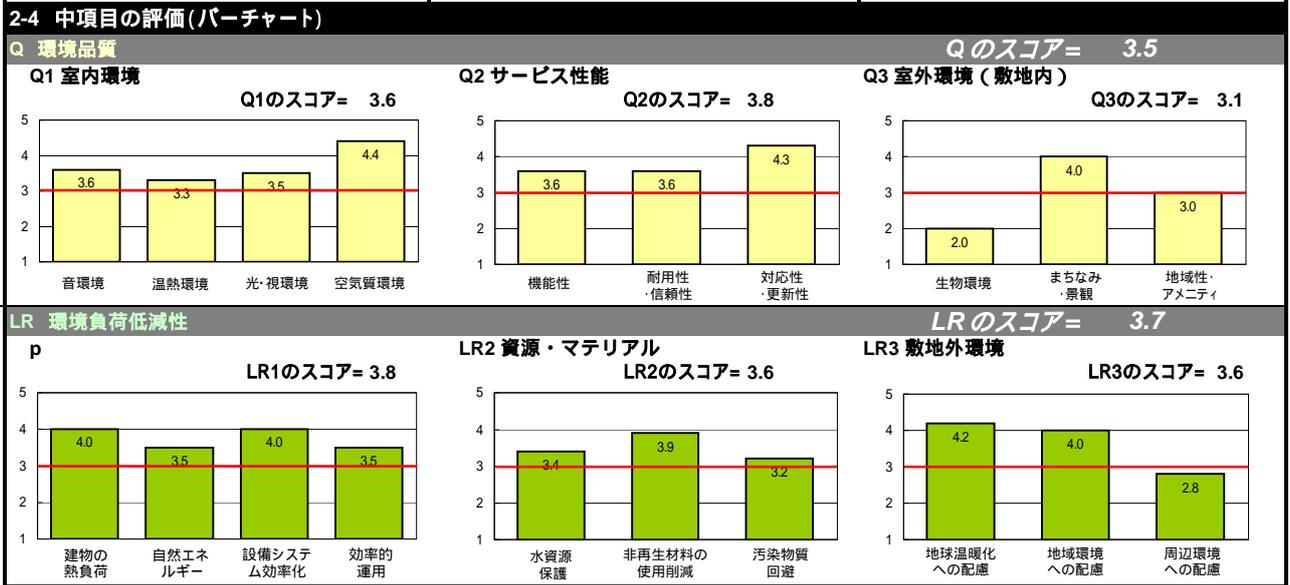
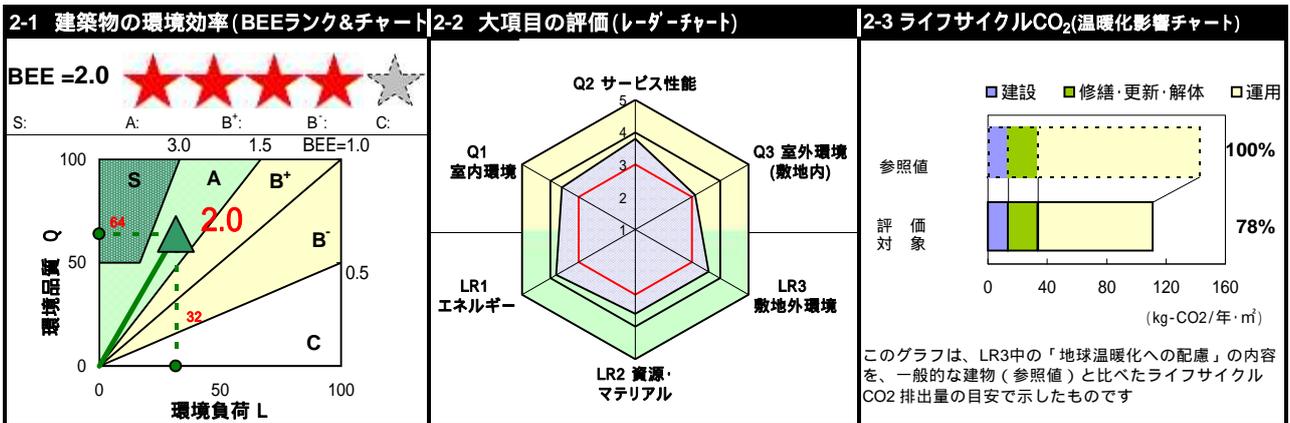


# CASBEE 新築[簡易版]

# 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-Ncb\_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ネクストサイト藤沢ビル	階数	地上4F、地下1F
建設地	藤沢市藤沢字大道東113-1	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	335人
気候区分	地域区分	年間使用時間	2,400時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2012年2月 竣工	評価の実施日	2012年1月27日
敷地面積	1,045 m <sup>2</sup>	作成者	野村不動産株式会社一級建築士事務所
建築面積	741 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	3,106 m <sup>2</sup>	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
貸事務所ビルとして、良質の外観、フレキシビリティを考慮した機能性をもった快適で安心安全なオフィス空間とした。周辺の景観との調和も図り、まちなみに新たなランドマークとなるべく計画した。		
<b>Q1 室内環境</b> 空調は負荷を考慮したゾーニングとし、ゾーン別に冷房・暖房が選択可能なシステムとした。また、照明もグレア対策や制御に配慮した。内装材にはFを全面的に使用し、室内環境にも配慮した。	<b>Q2 サービス性能</b> 天井高さ2.8m、リフレッシュ給湯など、豊かな居住環境とした。階高、床荷重にもゆとりをもたせ、全面をOAフロアとすることで電気・通信配線の更新しやすさにも配慮した。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 接道部、屋上、壁面など、様々な箇所緑化を施した。また、隣地、沿道部の建物高さを抑え、まちなみの景観に配慮した。
<b>LR1 エネルギー</b> 外壁に十分な断熱性を持たせるとともに、窓ガラスにはLow-eガラスを使用して日射進入を抑え、冷暖房負荷を軽減した。併せて、設備システムも出来る限り高効率化を図った。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> リサイクル資材の使用、OAフロアの採用など、非再生性資源の使用量削減に努めた。また、八口消火剤は使用せず、汚染物質含有材料の使用回避に努めた。	<b>LR3 敷地外環境</b> 燃焼機器を使用しないようオール電化とし、大気汚染物質の発生を無計画とした。その他、雨水流出抑制、適切な駐車台数、駐輪台数を確保するなど、敷地外環境に配慮した。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
**Q:** Quality (建築物の環境品質)、**L:** Load (建築物の環境負荷)、**LR:** Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、**BEE:** Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい